



## 2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年4月10日

上場会社名 東洋電機製造株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6505 URL <https://www.toyodenki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺島 憲造  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 大塚 貴敏 (TEL) 03-5202-8122  
 四半期報告書提出予定日 2020年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年5月期第3四半期の連結業績(2019年6月1日~2020年2月29日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	28,621	△3.2	472	—	687	—	693	294.2
2019年5月期第3四半期	29,553	5.7	△133	—	△54	—	175	513.1

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 △1,250百万円(—%) 2019年5月期第3四半期 △428百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	77.54	—
2019年5月期第3四半期	19.03	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第3四半期	54,492	23,285	42.7
2019年5月期	58,001	24,804	42.8

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 23,285百万円 2019年5月期 24,804百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日~2020年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.0	900	61.4	1,100	121.8	900	30.4	100.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年5月期3Q	9,735,000株	2019年5月期	9,735,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	793,343株	2019年5月期	792,966株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年5月期3Q	8,941,867株	2019年5月期3Q	9,242,854株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 決算補足説明資料	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年6月1日～2020年2月29日)における我が国経済は、前半は、米中通商問題の長期化や中東情勢、日韓関係などに起因する不確実性の拡大により、製造業を中心に設備投資に慎重さが見られ、後半は、本年1月半ばから急増し始めた新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の経済活動に停滞が見られました。

直近においても、これらに起因する世界経済の下振れリスクは高まりを見せ、設備投資の抑制基調が強まるとともに、7年ぶりにベースアップを見送る企業が相次いでおり、今後も、しばらくは、企業の経済活動や個人消費の鈍化が続くことが想定されます。

一方、当社を取り巻く事業環境は、現時点では期初想定範囲内で推移しております。交通事業では、国内の鉄道車両の置き換え需要が引き続き堅調で、中国の需要も先行きに不透明感はあるものの、緩やかな回復傾向にあります。産業事業では、世界経済の下振れリスクへの懸念から、加工機械などで投資の先送りが見られたものの、自動車メーカーにおける開発ニーズの多様化により、自動車開発用試験機の需要は堅調を維持しております。情報機器事業では、消費税率改定が予定どおり10月に実施され、それに伴うソフトウェア改修の特別需要がありました。なお、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に関し、当社業績への影響を精査しておりますが、現時点で、直近に公表している業績予想への影響はないものと判断しております。

こうした中、当社グループは2018年7月にスタートさせた中期経営計画「リ・バイタライズ2020(Revitalize2020)」に基づき、組織の力を強化し、高品質な製品を迅速に顧客に提供していくことで、利益を安定して生み出す“筋肉質な”事業運営体制を確立すべく、グループ一丸となって取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

受注高は、前年同期比8.2%増の301億67百万円となりました。

売上高は、前年同期比3.2%減の286億21百万円となりました。

損益面では、営業利益は、前年同期比6億5百万円改善し4億72百万円、経常利益は同7億42百万円改善し6億87百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は一部の政策保有株式の圧縮に努めた結果、同294.2%増の6億93百万円となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。

#### <交通事業>

受注高は、JR向け、中国向けが大きく増加したことから、前年同期比20.8%増の205億33百万円となりました。

売上高は、主にJR向けが減少したことから、前年同期比11.1%減の176億10百万円となりました。

セグメント利益は、国内民鉄向けが減少したものの、中国向け、その他海外向けが増加したことから、前年同期比横ばいの14億59百万円となりました。

#### <産業事業>

受注高は、昨年受注した新事業大型案件(電源関係)の反動減などがあり、前年同期比16.9%減の82億74百万円となりました。

売上高は、主に試験機向け、電源向けが増加したことから、前年同期比11.9%増の96億67百万円となりました。

セグメント利益は、原価管理、工程管理の強化及び経費の圧縮に努めたことから、前年同期比186.8%増の7億72百万円となりました。

#### <情報機器事業>

受注高は、消費税率改定や春のダイヤ改正に伴うソフトウェア改修及び複合発行機の増加などにより、前年同期比48.2%増の13億55百万円となりました。

売上高は、受注高と同様の事由により、前年同期比21.9%増の13億39百万円となりました。

セグメント利益は、売上高と同様の事由により、前年同期比82.4%増の3億88百万円となりました。

※報告セグメント別の売上高については、「外部顧客への売上高」であり、「セグメント間の内部売上高又は振替高」は含みません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計については、売上債権の増加3億27百万円がありましたが、投資有価証券の減少30億50百万円、未収入金の減少3億41百万円などがあり、前連結会計年度末比35億9百万円減少の544億92百万円となりました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計については、未払費用の増加1億26百万円がありましたが、繰延税金負債の減少6億96百万円、未払税金等の減少6億53百万円などがあり、前連結会計年度末比19億90百万円減少の312億7百万円となりました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計については、利益剰余金の増加4億25百万円がありましたが、その他有価証券評価差額金の減少18億91百万円などがあり、前連結会計年度末比15億19百万円減少の232億85百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績は概ね予想通りに推移しており、2019年7月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,240	1,806
受取手形及び売掛金	14,192	14,878
電子記録債権	1,443	1,085
商品及び製品	991	766
仕掛品	3,504	4,052
原材料及び貯蔵品	3,074	2,958
前渡金	47	26
未収入金	461	119
その他	64	280
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	26,019	25,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,210	12,265
減価償却累計額	△5,119	△5,410
建物及び構築物(純額)	7,090	6,854
機械装置及び運搬具	8,174	8,193
減価償却累計額	△6,732	△7,023
機械装置及び運搬具(純額)	1,441	1,170
土地	1,301	1,301
建設仮勘定	31	50
その他	4,410	4,576
減価償却累計額	△3,592	△3,838
その他(純額)	818	738
有形固定資産合計	10,683	10,115
無形固定資産		
ソフトウェア	677	515
ソフトウェア仮勘定	—	14
その他	14	14
無形固定資産合計	692	544
投資その他の資産		
投資有価証券	17,856	14,805
繰延税金資産	164	149
その他	2,598	2,916
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	20,606	17,858
固定資産合計	31,982	28,518
資産合計	58,001	54,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,670	2,747
電子記録債務	5,944	5,660
短期借入金	2,462	2,977
未払費用	678	805
未払法人税等	320	172
未払消費税等	579	74
前受金	59	50
預り金	216	200
役員賞与引当金	38	35
賞与引当金	819	421
受注損失引当金	570	582
その他	402	154
流動負債合計	14,763	13,882
固定負債		
長期借入金	12,961	12,433
長期未払金	20	20
繰延税金負債	1,554	857
退職給付に係る負債	3,893	4,009
その他	4	3
固定負債合計	18,433	17,324
負債合計	33,197	31,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,998	4,998
資本剰余金	3,177	3,177
利益剰余金	10,797	11,222
自己株式	△1,280	△1,280
株主資本合計	17,693	18,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,176	5,285
為替換算調整勘定	126	39
退職給付に係る調整累計額	△192	△156
その他の包括利益累計額合計	7,110	5,167
純資産合計	24,804	23,285
負債純資産合計	58,001	54,492

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2020年2月29日)
売上高	29,553	28,621
売上原価	24,252	22,788
売上総利益	5,301	5,833
販売費及び一般管理費	5,434	5,361
営業利益又は営業損失(△)	△133	472
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	233	223
持分法による投資利益	—	40
災害に伴う受取保険金	—	92
雑収入	36	35
営業外収益合計	271	393
営業外費用		
支払利息	110	67
持分法による投資損失	11	—
固定資産廃棄損	3	0
為替差損	21	30
災害復旧費用	—	68
雑損失	45	10
営業外費用合計	192	177
経常利益又は経常損失(△)	△54	687
特別利益		
投資有価証券売却益	571	447
特別利益合計	571	447
特別損失		
創立100周年記念事業費用	53	—
特別損失合計	53	—
税金等調整前四半期純利益	463	1,135
法人税、住民税及び事業税	195	301
法人税等調整額	91	140
法人税等合計	287	442
四半期純利益	175	693
親会社株主に帰属する四半期純利益	175	693



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	175	693
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△590	△1,891
為替換算調整勘定	5	△11
退職給付に係る調整額	37	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	△76
その他の包括利益合計	△604	△1,943
四半期包括利益	△428	△1,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△428	△1,250
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	19,804	8,638	1,098	11	29,553	—	29,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	37	0	—	433	472	△472	—
計	19,841	8,639	1,098	445	30,025	△472	29,553
セグメント利益	1,457	269	213	25	1,965	△2,099	△133

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務などです。

2 セグメント利益の調整額△2,099百万円は、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△2,097百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	交通事業	産業事業	情報機器 事業				
売上高							
外部顧客への売上高	17,610	9,667	1,339	4	28,621	—	28,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	0	—	391	396	△396	—
計	17,615	9,667	1,339	395	29,018	△396	28,621
セグメント利益	1,459	772	388	5	2,627	△2,154	472

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣に関連する業務などです。

2 セグメント利益の調整額△2,154百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△2,154百万円です。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 決算補足説明資料

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産状況

事業の種類別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	19,232	67.6	17,540	61.8
産業事業	8,343	29.3	9,740	34.3
情報機器事業	859	3.0	1,115	3.9
その他	—	—	—	—
合計	28,435	100.0	28,397	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注状況

事業の種類別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
交通事業	16,997	20,947	20,533	25,522
産業事業	9,953	8,004	8,274	5,790
情報機器事業	914	343	1,355	716
その他	11	—	4	—
合計	27,877	29,296	30,167	32,029

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売状況

事業の種類別 セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
交通事業	19,804	67.0	17,610	61.5
産業事業	8,638	29.2	9,667	33.8
情報機器事業	1,098	3.7	1,339	4.7
その他	11	0.0	4	0.0
合計	29,553	100.0	28,621	100.0

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。